

アルペジオならではの便利仕様

01 バトン式 両開き仕様 シングルスタイル

中央に設置したバトン1本を引くだけで、中央から左右両端にルーバーを寄せることができます。中央からも開けることができるので、窓中央の鍵を開けやすくなります。

シングルスタイル バトン式 両開き仕様 操作動画 ▶

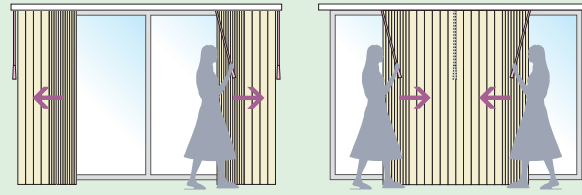


バトン式 ミニマルウエイト 両開き仕様



操作コードが無く、小さなお子さまがいらっしゃるご家庭でも安心してお使いいただけます。

■ バトン式 両開き仕様

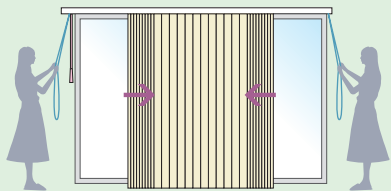


両側にルーバーを分けてたたむことで、たたみ代がコンパクト。左右両端のバトンで、ルーバー回転操作と反対側へ寄せることができます。(標準タイプ シングルスタイル ルーバー幅 100mmのみ対応。製作可能面積最大9㎡)

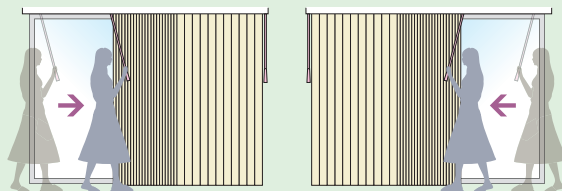
02 両側開閉操作 シングルスタイル モアラップスタイル センターレーススタイル バックレーススタイル

出入りが多い掃き出し窓や、開閉の多い窓に左右どちらからでも開閉操作が可能で便利です。

■ 両側開閉操作 反対寄せ ループコード式



■ 両側操作 バトン式



03 操作位置・開き勝手の変更可能 シングルスタイル モアラップスタイル センターレーススタイル

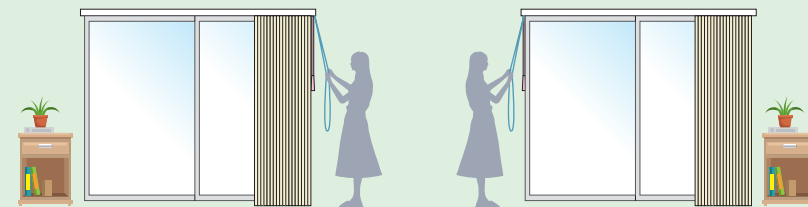
ルーバーの寄せ方向や操作側を、納まり切替機構により簡単に変更できます。お部屋の模様替えや引越の時など、使い勝手に合わせて変更可能です。

ルーバー寄せ方向、操作側 変更方法動画 ▶



対応商品：標準タイプ ループコード式 片開き仕様

- 右操作・右寄せ → 左操作・右寄せに変更の場合は、切替機構を使用
- 左操作・左寄せ → 左操作・左寄せに変更の場合は、ヘッドレールを反転
- 右操作・左寄せに変更の場合は、ヘッドレールを反転し切替機構を使用



アルペジオ各スタイルの住宅使用シーン画像 ▶



たたみ代・ルーバー枚数を算出できるニチベイカリキュレーターサイトへ ▶



実際の部屋の写真に、商品イメージを合成して設置後のイメージできる、ウィンドウシミュレーターサイトへ ▶



ホームページ



公式Instagram



デジタルカタログ

Arpeggio

バーチカルブラインド アルペジオ

vol. 01
操作・スタイル編

レースの美しいスタイル。

不透明生地とシースルーのレース生地を交互に組み合わせたスタイルは、採光とプライバシー確保を両立させます。



レース生地の回転がスムーズ。センターレーススタイル

20年以上にわたりご愛顧いただいている「アルペジオ センターレーススタイル」。独自構造のセンターレーススタイルは、常にスプリングの力がかかっているため、センターレースルーバーが、常に不透明ルーバーにピッタリ揃いながらスムーズに回転します。陽射しの入り方をコントロールする際に、ルーバー角度の微調整がしやすく、美しいレースコンビネーションをストレスフリーにお楽しみいただけます。

閉じればすっきりフラット。バックレーススタイル



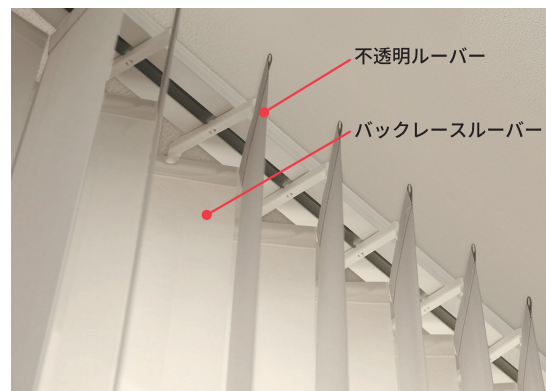
アルペジオ…「高い音から低い音へ」「低い音から高い音へ」一方向的に流れてゆくように、スムーズに1音ずつ発する演奏。連続的に鳴る音が叙情的な雰囲気を出し出すように、移ろう光と調和した美しい空間を創り出すバーチカルブラインドを「アルペジオ」と名付けました。

バックレーススタイルとセンターレーススタイルの違いを教えてください！



バックレーススタイル

「バックレーススタイル」は、1つのキャリアに100mmの不透明ルーバーと100mmのバックレースルーバーをL字に取り付けることで、遮蔽と採光をコントロールできるスタイルです。



「センターレーススタイル」との違い

不透明ルーバーを垂直にした場合、バックレースルーバーが窓と水平になってフラットな視界を得られる点と、不透明ルーバーを全開した時、バックレースルーバーを完全に隠すことが出来る意匠性の良さがポイント。



不透明ルーバーを垂直にした場合
不透明ルーバー・バックレースルーバーを45°に回転し調光した場合
不透明ルーバーを全開にした場合

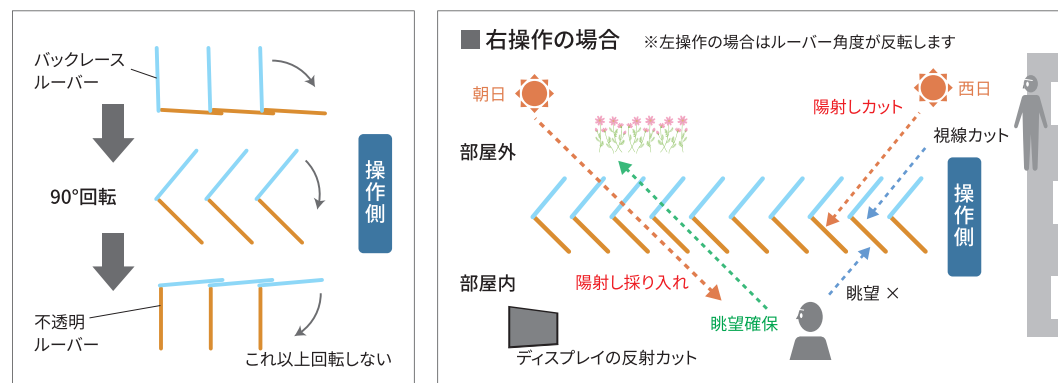
たたみ代がコンパクト

「バックレーススタイル」は、一つのキャリアに不透明ルーバーとバックレースルーバーがV字に固定されているため、たたみ代をコンパクトに納めることができます。



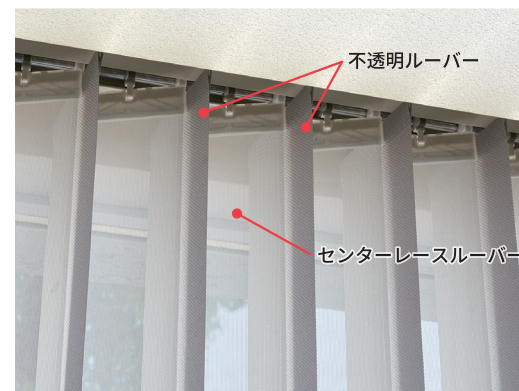
90°の動き

「バックレーススタイル」は、1つのキャリアに不透明ルーバーとバックレースルーバーを約90°に固定させている構造上、右側または左側どちらか約90°の回転(調光)に制限されます。ループコード式、バトン式の別を問わず、陽射しを採り入れたい側、陽射しを遮りたい側を事前に設定して、操作側を選ぶことが大切です。(回転操作棒側が、操作側になります。)



センターレーススタイル

「センターレーススタイル」は、100mmの不透明ルーバーに85mmのセンターレースルーバーを斜めに挟み込んだ構造で、遮蔽と採光をコントロールできるスタイルです。



「バックレーススタイル」との違い

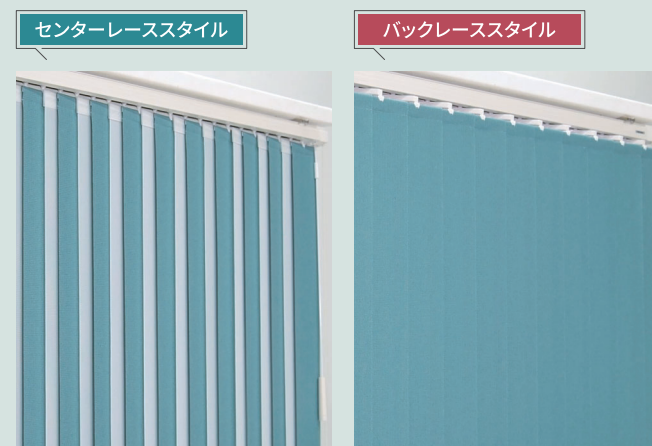
全閉時では、センターレースルーバーがストライプ状に重なり、全体の40%程度レース生地が見えます。センターレースルーバーは不透明ルーバーの回転に合わせて動く仕組みのため、不透明ルーバーを左右180°回転操作できる機能が魅力となっています。



不透明ルーバーを左回転で全閉にした場合
不透明ルーバーを回転し調光した場合
不透明ルーバーを垂直にした場合
不透明ルーバーを右回転し調光した場合
不透明ルーバーを右回転で全閉にした場合

メモ

不透明ルーバーの同系色を、センターレースに設定していますが、レースの色を不透明ルーバーの色に合わせるのではなく、自然な採光と視界を得たいという場合は、ホワイト色のセンターレースルーバーも選択可能です。その場合、右写真のように全閉にした時、レース生地が目立ちます。レースを見せたくない場合は「バックレーススタイル」がおすすめです。



電動タイプ

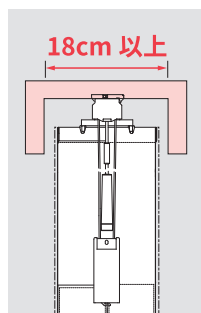
「センターレーススタイル」は、高窓など手動では操作しにくい窓に便利な電動タイプに対応しています。製作可能最大寸法は、最大面積7.2㎡以内で商品幅2.4メートルもしくは、商品高さ3.3メートルになります。



設置可能な奥行きサイズの違い

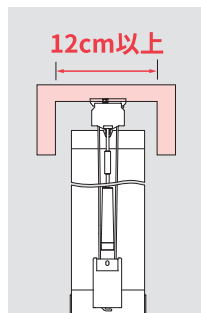
バックレーススタイル

「バックレーススタイル」の設置には18cm以上の有効奥行きを確保できる設置環境が必要です。標準的なカーテンボックス(15cm程度)や窓枠内(10cm以下)で設置が難しい場合、壁面への正面付けになります。



センターレーススタイル

「センターレーススタイル」は12~13cm程度の有効奥行きがあればカーテンボックスにも設置が可能、商品の手前側に障害物の無い窓枠内付けであれば8~9cm程度の有効奥行きでも設置することができます。

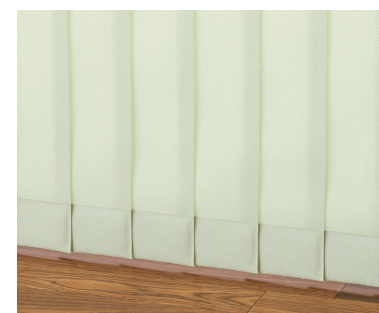


すっきりと美しいミニマルウエイト

「バックレーススタイル」は、ルーバー下部のスペーサーコードを無くし、シンプルですっきりとしたデザインと安全性にも考慮したミニマルウエイトを使用。側面も縫製されて意匠性の高い仕上がりです。

バックレーススタイル

■ミニマルウエイト
ルーバー重なり幅は約20mm。スペーサーコードが無いのでボトムがすっきりとしています。チャイルドセーフティー対策にも。ウォッシュブル生地であれば、そのまま洗濯も可能です。



センターレーススタイル

■センターレース用ウエイト
不透明ルーバーとセンターレースルーバーが交互に重なります。スペーサーコードが無い、センターレーススタイル専用の形状です。チャイルドセーフティー対策にも。



コーナー窓への設置



センターレーススタイル

シンプルなキャリアフックを採用している「センターレーススタイル」は、コーナー窓に採用も可能で、入隅や出隅コーナーが多いマンションなどにも取付けが可能です。

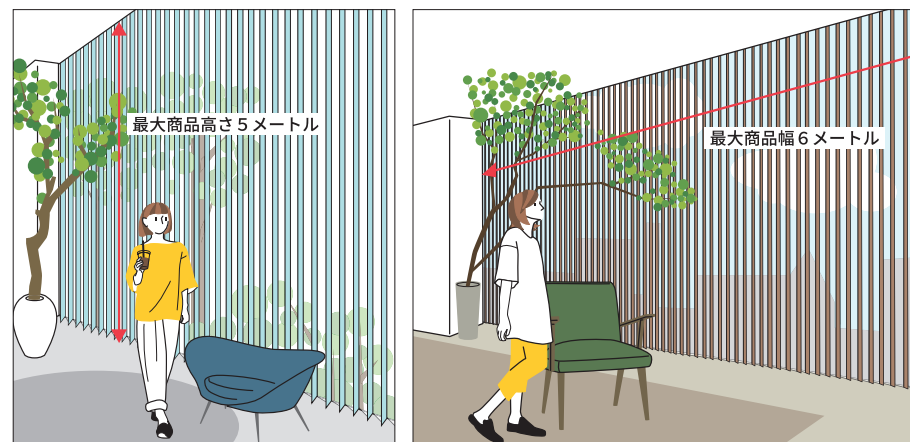
バックレーススタイル

「バックレーススタイル」の場合は、構造上コーナー窓で使用することはできません。

吹き抜け、大開口リビングの設置にはセンターレーススタイル

センターレーススタイル

標準タイプ片開きツーループコード式であれば、最大面積18㎡以内で商品幅6メートルもしくは、商品高さ5メートルまでの「センターレーススタイル」が製作可能です。



バックレーススタイル

「バックレーススタイル」の製作可能最大寸法は、ループコード式で商品幅4メートル、商品高さ3メートルまで、バトン式で最大面積6㎡以内で商品幅3メートルもしくは、商品高さ3メートルまで製作可能です。